

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017年11月2日(02.11.2017)



(10) 国際公開番号

WO 2017/187495 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 50/22 (2012.01) *G06F 17/30* (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2016/062978

(22) 国際出願日: 2016年4月26日(26.04.2016)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人: 株式会社 オプティム (OPTIM CORPORATION) [JP/JP]; 〒8400047 佐賀県佐賀市与賀町4番18号 Saga (JP).

(72) 発明者: 菅谷 俊二 (SUGAYA Shunji); 〒1050022 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング 21F 株式会社オプティム内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 小木 智彦 (KOGI Tomohiko); 〒8800804 宮崎県宮崎市宮田町11-24 黒木ビル1F Miyazaki (JP).

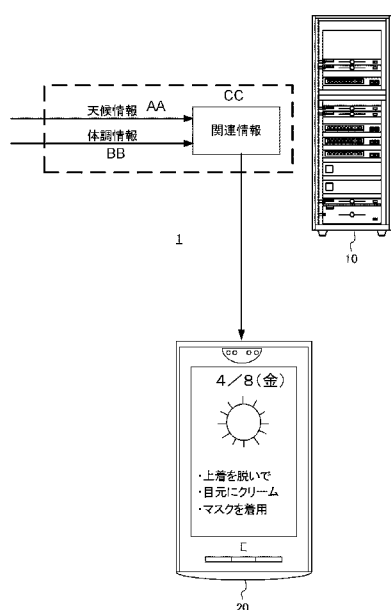
(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,

BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

(54) Title: CONCIERGE SYSTEM, METHOD AND PROGRAM

(54) 発明の名称: コンシェルジュシステム、方法及びプログラム



AA Weather information
BB Physical condition information
CC Related information

(57) Abstract: [Problem] To provide a concierge system, method and program for proposing information optimal for a user with regard to the weather on a certain day. [Solution] A concierge system 1 comprises: a weather information acquisition module 14 that proposes information customized to a user in accordance with weather information, and acquires weather information from an external weather-related system 30; a physical condition information acquisition module 15 that acquires physical condition information from an external physical condition-related system 40; an associated information data database 17 that associates the weather information for a prescribed period acquired by the weather information acquisition module 14 and the physical condition information of the user for the prescribed period, acquired by the physical condition acquisition module 15, and stores same as associated information; and an individual user information provision module 18 that performs calculations from the stored associated information to provide information suited to the user with regard to weather information for a certain day.

添付公開書類：

- 一 国際調査報告（条約第21条(3)）

(57) 要約：【課題】ある日の天候における、利用者にとっての最適な情報を提案するコンシェルジュシステム、方法及びプログラムを提供する。【解決手段】コンシェルジュシステム1は、天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案し、天候情報を外部の天候関連システム30から取得する天候情報取得モジュール14と、体調情報を外部の体調関連システム40から取得する体調情報取得モジュール15と、天候情報取得モジュール14で取得された所定期間の天候情報と、体調情報取得モジュール15で取得された当該所定期間の利用者の体調情報と、を関連付けて関連情報として記憶する関連情報データベース17と、記憶された関連情報から算出して、ある日の天候情報における利用者に適した情報を提供する利用者個別情報提供モジュール18と、を備える。

明 細 書

発明の名称： コンシェルジュシステム、方法及びプログラム

技術分野

[0001] 本発明は、天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案するコンシェルジュシステムに関する。

背景技術

[0002] 従来、人々の行動は天候に応じて異なる場合があるため、様々な情報源から天候に関する情報が配信されていた。

[0003] 例えば、配信側のユーザ端末が、配信用メッセージを、配信希望日時および該配信希望日時における天候を含む配信条件と一緒に情報配信装置に送信し、情報配信装置が、上記配信希望日時における天気予報情報を天気情報提供システムから取得し、該天気予報情報が上記配信条件の天候と一致する場合にのみ、上記配信用メッセージを上記配信希望日時に受信側のユーザ端末に送信する情報配信システムが提案されている（特許文献1参照）。特許文献1の装置によれば、天候に応じた情報配信を自動で行うことができる。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2008-209983号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] ところで、天候（気温・天気・湿度等）に応じた行動は、個々の利用者によって、それぞれ異なる。例えば、気温20℃は、ある利用者の体調によっては暑く感じても、別の利用者の体調によっては寒いと感じる場合がある。この場合、暑いと感じる利用者の行動としては服装を薄着にして出かける方が望ましく、寒いと感じる利用者の行動としては服装を厚着にして出かける方が望ましい。

[0006] しかしながら、特許文献1の情報配信システムでは、情報の配信者側の希

望に応じた情報が配信されるため、ある日の天候（気温・天気・湿度等）における、利用者（受信側のユーザ端末を操作する利用者）にとっての最適な情報（例えば、服装・スキンケア等）を提案することができなかった。

[0007] 本発明は、これらの課題に鑑み、ある日の天候における、利用者にとっての最適な情報を提案するコンシェルジュシステム、方法及びプログラムを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0008] 本発明では、以下のような解決手段を提供する。

[0009] 第1の特徴に係る発明は、

天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案するコンシェルジュシステムであって、

前記天候情報を外部の天候関連システムから取得する天候情報取得手段と、

体調情報を外部の体調関連システムから取得する体調情報取得手段と、

前記天候情報取得手段で取得された所定期間の前記天候情報と、前記体調情報取得手段で取得された当該所定期間の前記利用者の前記体調情報と、を関連付けて関連情報として記憶する記憶手段と、

前記記憶された前記関連情報から算出して、ある日の前記天候情報における前記利用者に適した情報を提供する情報提供手段と、
を備えるコンシェルジュシステムを提供する。

[0010] 第1の特徴に係る発明によれば、所定期間の天候情報と当該所定期間の利用者の体調情報と、を関連付けて関連情報として記憶し、この関連情報から算出して、ある日の天候情報における利用者に適した情報を提供できる。これにより、例えば、過去の天候情報（気温・天気・湿度等）と、その日の利用者の体調情報と、を紐付けて蓄積し、この蓄積した情報に基づき、天候に応じた当該利用者にとって最適な情報を算出できる。利用者は、このような最適な情報を利用することで、例えば、暑すぎて汗をかきすぎたり、寒すぎて風邪を引いたり、肌が乾燥したり、肌がベトベトになったりすることを軽

減できる。したがって、ある日の天候における、利用者にとっての最適な情報を提案するコンシェルジュシステムを提供できる。

[0011] 第1の特徴に係る発明は、システムのカテゴリであるが、方法及びプログラムであっても同様の作用、効果を奏する。

[0012] 第2の特徴に係る発明は、第1の特徴に係る発明に加え、
前記情報提供手段で提供する利用者に適した情報が、風邪を引きにくい服装情報であることを特徴とするコンシェルジュシステムを提供する。

[0013] 第2の特徴に係る発明によれば、関連情報に基づき、ある日の天候における、利用者にとっての最適な風邪を引きにくい服装情報を提案できる。

[0014] 第3の特徴に係る発明は、第1の特徴に係る発明に加え、
前記情報提供手段で提供する利用者に適した情報が、乾燥しにくいスキンケア情報であることを特徴とするコンシェルジュシステムを提供する。

[0015] 第3の特徴に係る発明によれば、関連情報に基づき、ある日の天候における、利用者にとっての最適な乾燥しにくいスキンケア情報を提案できる。

[0016] 第4の特徴に係る発明は、第1の特徴に係る発明に加え、
前記情報提供手段で提供する利用者に適した情報が、快適に過ごせる花粉症対策情報であることを特徴とするコンシェルジュシステムを提供する。

[0017] 第4の特徴に係る発明によれば、関連情報に基づき、ある日の天候における、利用者にとっての最適な快適に過ごせる花粉症対策情報を提案できる。

発明の効果

[0018] 本発明によれば、ある日の天候における、利用者にとっての最適な情報を提案するコンシェルジュシステム、方法及びプログラムを提供することが可能となる。

図面の簡単な説明

[0019] [図1]図1は、本発明の好適な実施形態であるコンシェルジュシステム1の概要を説明するための図である。

[図2]図2は、コンシェルジュシステム1の全体構成図である。

[図3]図3は、コンシェルジュシステム1の機能ブロックと各機能の関係を示

す図である。

[図4]図4は、サーバ10が実行する利用者個別情報提供処理のフローチャートである。

[図5]図5は、サーバ10の関連情報データDB17に記憶された関連情報データを説明する図である。

[図6]図6は、サーバ10の提供情報データDB19に記憶された提供情報データを説明する図である。

[図7]図7は、端末20の入出力部24に表示される画面の一例であって、利用者個別情報に基づく利用者個別情報画面イメージである。

発明を実施するための形態

[0020] 以下、本発明を実施するための最良の形態について図を参照しながら説明する。なお、これはあくまでも一例であって、本発明の技術的範囲はこれに限られるものではない。

[0021] [コンシェルジュシステムの概要]

図1は、本発明の好適な実施形態であるコンシェルジュシステム1の概要を説明するための図である。この図1に基づいて、コンシェルジュシステム1の概要を説明する。コンシェルジュシステム1は、サーバ10と、端末20によって構成される。

[0022] コンシェルジュシステム1は、天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案する。具体的には、コンシェルジュシステム1は、サーバ10が、天候情報に応じて、利用者が操作する端末20にカスタマイズされた情報を送信する。

[0023] 詳細には、サーバ10は、天候情報を外部の天候関連システムから取得（受信）し、利用者の体調情報を外部の体調関連システムから取得（受信）する。ここで、本実施形態において、「天候情報」は、気温、天気、湿度等の情報が含まれ、実際の値である実績値や予報された予報値であってもよい。また、「体調情報」には、体調、体感、肌の状態、花粉症の症状等の情報が含まれる。

[0024] そして、サーバ１０は、取得（受信）した所定期間（例えば、過去１年間等）の天候情報と、当該所定期間の利用者の体調情報と、を関連付けて関連情報として記憶し、この関連情報から算出して、ある日の天候情報における利用者に適した情報を、当該利用者の端末２０に送信する。

[0025] ここで、本実施形態において、「利用者に適した情報」には、風邪を引きにくい服装情報（図１に示す例では、「上着を脱いで」）、乾燥しにくいスキンケア（図１に示す例では、「目元にクリーム」）、快適に過ごせる花粉症対策情報（図１に示す例では、「マスクを着用」）等の情報が含まれる。

[0026] このようなコンシェルジュシステム１によれば、ある日の天候における、利用者にとっての最適な情報を提案できる。

[0027] [コンシェルジュシステムのシステム構成]

図２は、コンシェルジュシステム１の全体構成図である。コンシェルジュシステム１において、サーバ１０及び端末２０は、互いに公衆回線網５を介してそれぞれ通信可能に接続されている。また、サーバ１０及び端末２０は、外部のシステムである天候関連システム３０及び体調関連システム４０と、公衆回線網５を介してそれぞれ通信可能に接続されている。

[0028] サーバ１０は、後述の機能を備えた一般的なサーバであってよい。端末２０は、通信部を備えた一般的な情報端末であってよく、後述する機能を備える情報機器であり、例えば、携帯電話、スマートフォン、ネットブック端末、スレート端末、電子書籍端末、電子辞書端末、携帯型音楽プレーヤ、携帯型コンテンツ再生・録画プレーヤといった携帯型端末であってもよいし、パーソナルコンピュータといった据え置き型の端末であってもよい。

[0029] [各機能の説明]

図３は、コンシェルジュシステム１の機能ブロックと各機能の関係を示す図である。

[0030] サーバ１０は、制御部１１として、CPU（Central Processing Unit）、RAM（Random Access Memory）、ROM（Read Only Memory）等を備え、記憶部１

2として、ハードディスクや半導体メモリによる、データのストレージ部を備え、通信部13として、例えば、IEEE802.11に準拠したWi-Fi (Wireless Fidelity) 対応デバイス又は、第3世代、第4世代移動通信システム等のIMT-2000規格に準拠した無線デバイス等を備える。記憶部12は、情報提供プログラム100や関連情報データDB17や提供情報データDB19、その他、サーバ10の制御に必要なデータを記憶する。

[0031] サーバ10において、制御部11が情報提供プログラム100を読み込むことで、記憶部12及び通信部13と協働して、天候情報取得モジュール14、体調情報取得モジュール15及び利用者個別情報提供モジュール18を実現する。また、サーバ10において、制御部11が情報提供プログラム100を読み込むことで、記憶部12と協働して、関連情報データ生成モジュール16を実現する。

[0032] 端末20は、サーバ10と同様に、制御部21として、CPU、RAM、ROM等を備え、記憶部22として、データのストレージ部を備え、通信部23として、例えば、IEEE802.11に準拠したWi-Fi対応デバイスを備え（有線であってもよい）、入出力部24として、タッチパネルやディスプレイ等による表示手段や、タッチパネルやキーボード、マウス等による入力手段を備える。記憶部22は、情報表示プログラム200、その他、端末20の制御に必要なデータを記憶する。

[0033] 端末20において、制御部21が情報表示プログラム200を読み込むことで、記憶部22及び通信部23と協働して、利用者情報送信モジュール25及び利用者個別情報受信モジュール26を実現する。また、端末20において、制御部21が情報表示プログラム200を読み込むことで、記憶部22及び入出力部24と協働して、表示制御モジュール27を実現する。

[0034] [利用者個別情報提供処理]

図4は、サーバ10が実行する利用者個別情報提供処理のフローチャートである。上述したサーバ10のモジュールが行う処理について、本処理にて

併せて説明する。

- [0035] ステップS 1において、サーバ10は、端末20の利用者情報送信モジュール25から利用者を識別する情報（例えば、氏名、所在地等を示す情報）を受信し、利用者毎にユーザIDを割り振り、記憶部12に記憶する。
- [0036] ステップS 2において、天候情報取得モジュール14は、日付情報が対応付けられた天候情報を、外部の天候関連システム30から受信し、記憶部12に記憶する。
- [0037] ステップS 3において、体調情報取得モジュール15は、日付情報が対応付けられており、ステップS 1でユーザIDを割り振った利用者の体調情報を、外部の体調関連システム40から受信し、記憶部12に記憶する。
- [0038] ステップS 4において、関連情報データ生成モジュール16は、ステップS 2において天候情報取得モジュール14で取得された所定期間（例えば、過去1年間）の天候情報と、ステップS 3において体調情報取得モジュール15で取得された当該所定期間の利用者の体調情報と、を関連付けて関連情報として関連情報データDB17に記憶する。
- [0039] 図5は、サーバ10の関連情報データDB17に記憶された関連情報データを説明する図である。関連情報データは、ユーザ情報に日付情報が対応付けられ、日付情報毎に天候情報及び体調情報が対応付けられている。ユーザ情報には、利用者のユーザID及び所在地情報が含まれている。天候情報は、対応付けられている日付情報が示す日における、天候項目として天気、気温、湿度及び花粉量を示す情報が含まれている。体調情報には、対応付けられている日付情報が示す日における、体調項目として体調、体感、肌の状態及び花粉症の症状を示す情報が含まれている。
- [0040] なお、本実施形態では、体調情報の体調項目は、天候情報の天候項目にそれぞれ対応付けられているが、これに限らず、1つの天候項目に複数対応付けてもよいし、複数の天候項目に1つ又は複数対応付けてもよい。
- [0041] 図4に戻って、ステップS 5において、利用者個別情報提供モジュール18は、ステップS 4で関連情報データ生成モジュール16によって記憶され

た関連情報データＤＢ１７から算出して、ある日の天候情報における利用者に適した情報を、端末２０に送信する。

[0042] 詳細には、利用者個別情報提供モジュール１８は、関連情報データＤＢ１７（図５参照）を参照して、ある日（例えば、当日や明日）の日付を含む所定範囲（例えば、ある日が４月１日であれば、（昨年の）３月１日～５月１日等）において、天候情報取得モジュール１４が受信した当該ある日の天候情報と一致又は近似する情報を検索し、この天候情報に対応付けられた体調情報を抽出する。

[0043] このように、関連情報データＤＢ１７に日付情報を含め、利用者個別情報提供モジュール１８によるある日における利用者に適した情報の算出時の検索範囲を、このある日の日付を含む所定範囲に限定することで、検索精度を向上できるとともに、検索による制御部１１の処理負荷を軽減できる。なお、利用者個別情報提供モジュール１８による検索において、ある日の日付を含む所定範囲に限定しない場合には、関連情報データＤＢ１７に日付情報を含めなくともよい。

[0044] そして、利用者個別情報提供モジュール１８は、体調情報に提供情報が対応付けられた提供情報データを参照し、抽出した体調情報に対応付けられた提供情報を抽出し、抽出した提供情報を端末２０に送信する。

[0045] 図６は、サーバ１０の提供情報データＤＢ１９に記憶された提供情報データを説明する図である。提供情報データは、１つの体調情報に、複数の提供情報が対応付けられている。

[0046] 利用者個別情報提供モジュール１８は、ある体調情報に対応付けられた複数の提供情報のうちから１つの提供情報を決定する。この場合、利用者個別情報提供モジュール１８は、抽選処理や、ユーザ情報、日付情報、その他の情報等に基づき、複数の提供情報のうちから１つの提供情報を決定する。これにより、利用者に提供する情報を多様化することが可能となる。なお、提供情報データは、１つの体調情報に、１つの提供情報が対応付けられていてもよい。

[0047] そして、利用者個別情報提供モジュール 18 は、天候情報と決定した提供情報を含み、利用者に適した情報である利用者個別情報を、端末 20 に送信する。端末 20 は、利用者個別情報受信モジュール 26 により、サーバ 10 から送信された利用者個別情報を受信し、表示制御モジュール 27 が利用者個別情報に基づく利用者個別情報画面を入出力部 24 に表示する。

[0048] 図 7 は、端末 20 の入出力部 24 に表示される画面の一例であって、利用者個別情報に基づく利用者個別情報画面イメージである。例えば、サーバ 10 は、天候情報取得モジュール 14 が取得したある日（図 7 に示す例では 12 月 5 日）の天候情報が天気：雨、気温：10℃、湿度：71%、花粉量：多めである場合、利用者個別情報提供モジュール 18 が関連情報データ DB 17（図 5 参照）を参照して、当該ある日の天候情報と一致又は近似する情報（図 5 に示す例では 12 / 1 の情報）を検索し、この天候情報に対応付けられた体調情報（体調：悪い、体感：寒い、肌の状態：カサカサ、花粉症の症状：特に無し）を抽出する。

[0049] そして、利用者個別情報提供モジュール 18 は、提供情報データ DB 19 の提供情報データ（図 6 参照）を参照して、抽出した体調情報（体調：悪い、体感：寒い、肌の状態：カサカサ、花粉症の症状：特に無し）に基づき、提供情報として体調情報「悪い」に対応づけられた「好物を食べよう」、体調情報「寒い」に対応づけられた「コート必須」、体調情報「カサカサ」に対応付けられた「保湿クリーム多めに」を決定し、この提供情報と天候情報を含む利用者個別情報を端末 20 に送信する。

[0050] そして、端末 20 は、利用者個別情報受信モジュール 26 により、サーバ 10 から送信された利用者個別情報を受信し、表示制御モジュール 27 が図 7 に示すような利用者個別情報に基づく利用者個別情報画面を入出力部 24 に表示する。

[0051] 上述した手段、機能は、コンピュータ（CPU、情報処理装置、各種端末を含む）が、所定のプログラムを読み込んで、実行することによって実現される。プログラムは、例えば、フレキシブルディスク、CD（CD-ROM

など）、DVD（DVD-ROM、DVD-RAMなど）等のコンピュータ読取可能な記録媒体に記録された形態で提供される。この場合、コンピュータはその記録媒体からプログラムを読み取って内部記憶装置または外部記憶装置に転送し記憶して実行する。また、そのプログラムを、例えば、磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスク等の記憶装置（記録媒体）に予め記録しておき、その記憶装置から通信回線を介してコンピュータに提供するようにしてもよい。

[0052] 以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明は上述したこれらの実施形態に限るものではない。また、本発明の実施形態に記載された効果は、本発明から生じる最も好適な効果を列挙したに過ぎず、本発明による効果は、本発明の実施形態に記載されたものに限定されるものではない。

符号の説明

[0053] 1 コンシェルジュシステム、30 天候関連システム、14 天候情報取得モジュール、15 体調情報取得モジュール、17 関連情報データベース、18 利用者個別情報提供モジュール

請求の範囲

- [請求項1] 天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案するコンシェルジュシステムであって、
- 前記天候情報を外部の天候関連システムから取得する天候情報取得手段と、
- 体調情報を外部の体調関連システムから取得する体調情報取得手段と、
- 前記天候情報取得手段で取得された所定期間の前記天候情報と、前記体調情報取得手段で取得された当該所定期間の前記利用者の前記体調情報と、を関連付けて関連情報として記憶する記憶手段と、
- 前記記憶された前記関連情報から算出して、ある日の前記天候情報における前記利用者に適した情報を提供する情報提供手段と、
- を備えるコンシェルジュシステム。
- [請求項2] 前記情報提供手段で提供する利用者に適した情報が、風邪を引きにくい服装情報である
- ことを特徴とする請求項1に記載のコンシェルジュシステム。
- [請求項3] 前記情報提供手段で提供する利用者に適した情報が、乾燥しにくいスキンケア情報である
- ことを特徴とする請求項1に記載のコンシェルジュシステム。
- [請求項4] 前記情報提供手段で提供する利用者に適した情報が、快適に過ごせる花粉症対策情報である
- ことを特徴とする請求項1に記載のコンシェルジュシステム。
- [請求項5] 天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案するコンシェルジュシステムが実行する方法であって、
- 前記天候情報を外部の天候関連システムから取得する天候情報取得ステップと、
- 前記体調情報を外部の体調関連システムから取得する体調情報取得ステップと、

前記天候情報取得ステップで取得した所定期間の前記天候情報と、
前記体調情報取得ステップで取得した当該所定期間の前記利用者の前
記体調情報と、を関連付けて関連情報として記憶する記憶ステップと
、
前記記憶された前記関連情報から算出して、ある日の天候情報にお
ける前記利用者に適した情報を提供する情報提供ステップと、
を含む方法。

[請求項6]

天候情報に応じて、利用者にカスタマイズされた情報を提案するコ
ンシェルジュシステムを制御するコンピュータを、

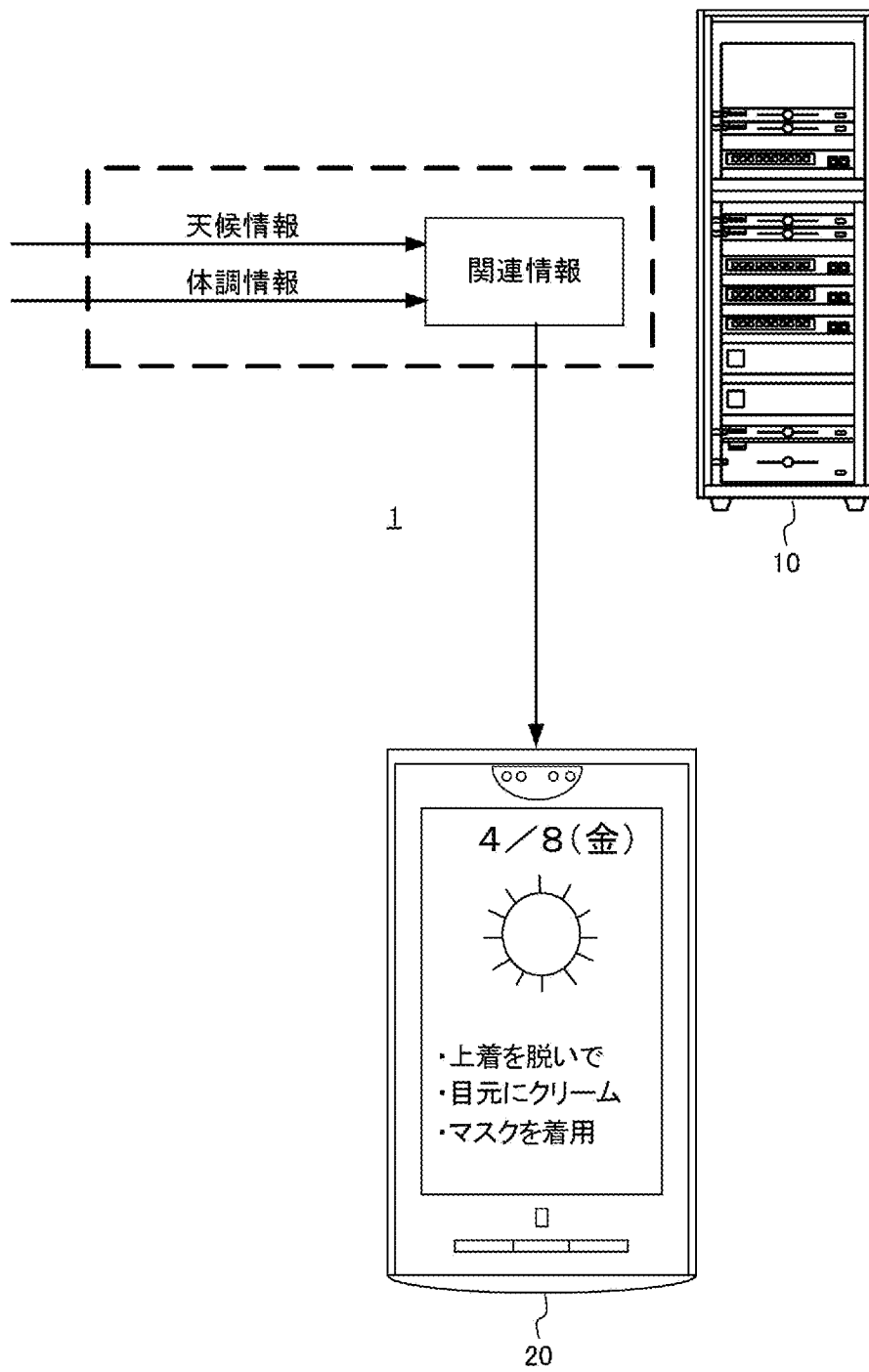
前記天候情報を外部の天候関連システムから取得する天候情報取得
手段、

前記体調情報を外部の体調関連システムから取得する体調情報取得
手段、

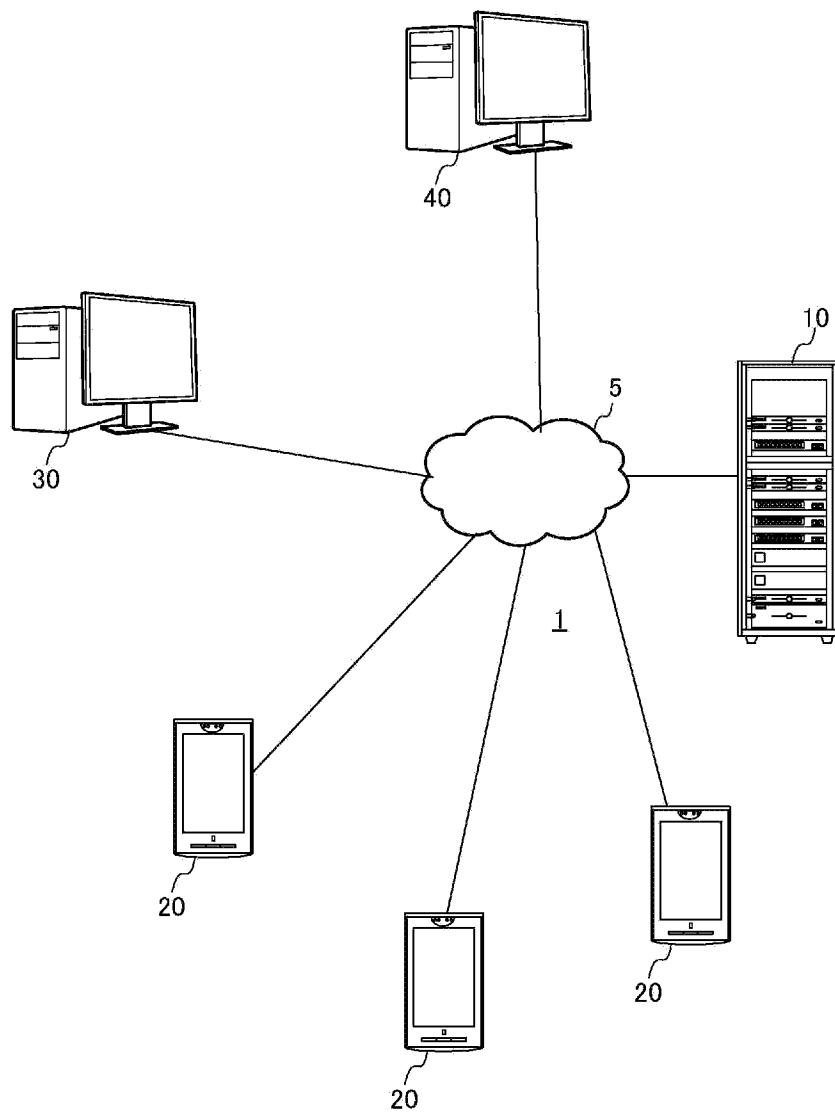
前記天候情報取得手段で取得した所定期間の前記天候情報と、前記
体調情報取得手段で取得した当該所定期間の前記利用者の前記体調情
報と、を関連付けて関連情報として記憶する記憶手段、

前記記憶された前記関連情報から算出して、ある日の天候情報にお
ける前記利用者に適した情報を提供する情報提供手段、
として機能させるためのプログラム。

[図1]

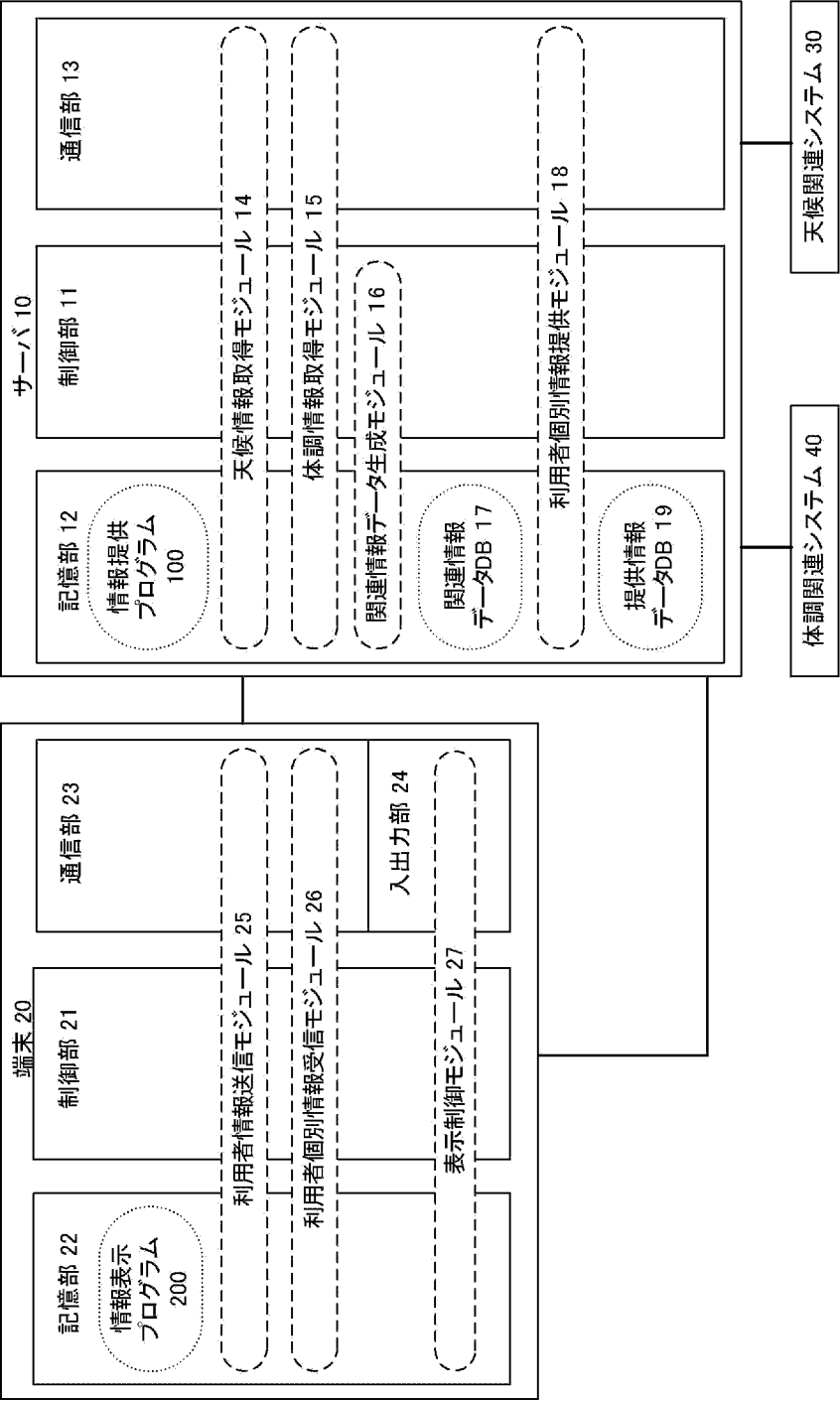


[図2]



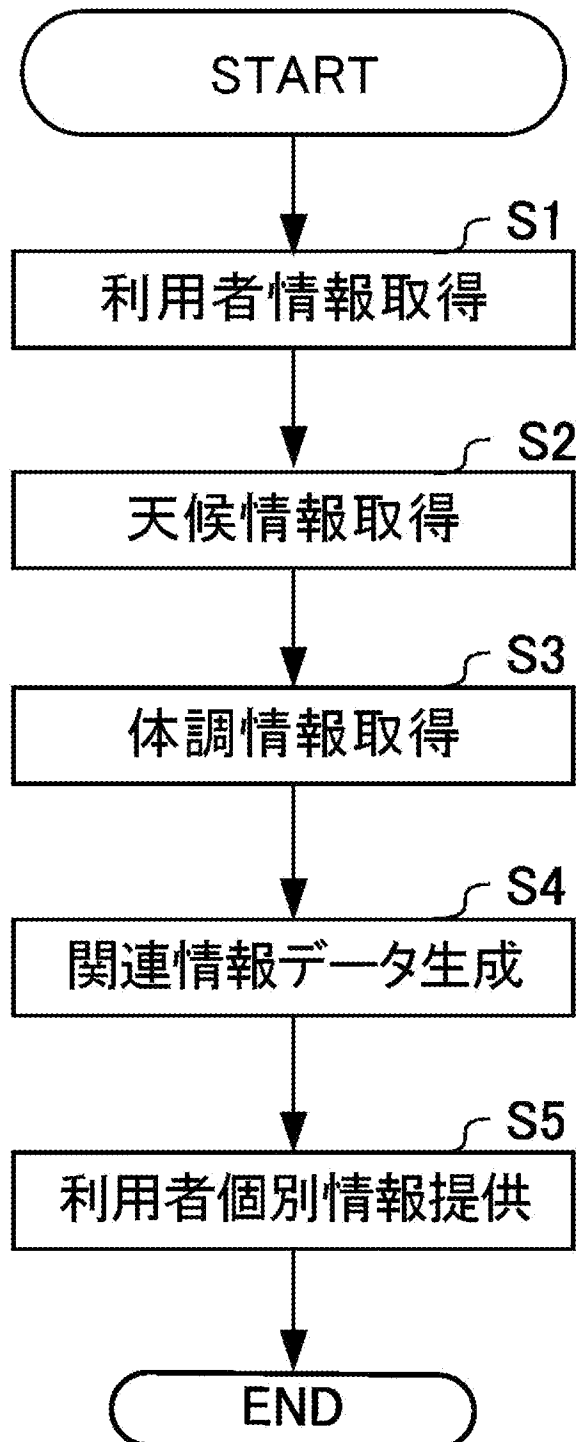
[図3]

1



[図4]

<利用者個別情報提供処理>



[図5]

関連情報データ

ユーザ情報		日付情報	天候情報		体調情報	
ユーザID	所在地情報		天候項目	情報	体調項目	情報
A01	神奈川県横浜市	.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.
		4/1	天気	晴れ	体調	良い
			気温	18℃	体感	快適
			湿度	71%	肌の状態	目の下にシワ
			花粉量	多め	花粉症症状	鼻水
		.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.
		12/1	天気	雨	体調	悪い
			気温	10℃	体感	寒い
			湿度	71%	肌の状態	カサカサ
			花粉量	多め	花粉症症状	特に無し
		.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.
		.	.	.	.	.

[図6]

提供情報データ

体調状態	提供情報
良い	—
悪い	大好物を食べよう
	早く寝よう
	・
・	・
・	・
・	・
快適	—
寒い	コート必須
	マフラー忘れずに
	・
暑い	ハンドタオルを持て行こう
	・
	・
目の下にシワ	目元にクリーム
	・
	・
カサカサ	保湿クリーム多めに
	・
鼻水	マスクを着用
	・
	・
特に無し	—
・	・
・	・
・	・

[図7]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/062978

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q50/22(2012.01)i, G06F17/30(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q50/22, G06F17/30

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	Takako YAMADA et al., "Support Method for a Fashion Coordination Service Based on Extraction Method of the Optimum Temperature of Clothes Using Clothes Life Logs", IEICE Technical Report, 28 February 2014 (28.02.2014), vol.113, no.479, pages 107 to 112	1, 2, 5, 6 3, 4
X Y A	JP 2004-53520 A (Bellssystem24, Inc.), 19 February 2004 (19.02.2004), paragraphs [0004], [0005], [0008], [0048] to [0052] (Family: none)	1, 5, 6 2 3, 4

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
19 May 2016 (19.05.16)

Date of mailing of the international search report
31 May 2016 (31.05.16)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/062978

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2006-301973 A (Matsushita Electric Works, Ltd.), 02 November 2006 (02.11.2006), abstract (Family: none)	2
X	JP 2002-311158 A (Metocean Environment Inc.),	1, 4-6
Y	23 October 2002 (23.10.2002),	3
A	abstract; paragraphs [0005], [0020] to [0024], [0033] (Family: none)	2
Y	JP 2002-15184 A (Dental Supply Co., Ltd.), 18 January 2002 (18.01.2002), abstract; claim 7; paragraphs [0020], [0031], [0038], [0043], [0044], [0051] (Family: none)	3
X	JP 2005-63218 A (Nippon Telegraph and	1, 4-6
Y	Telephone Corp.),	3
A	10 March 2005 (10.03.2005), claims 3, 8; paragraph [0001] (Family: none)	2

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q50/22(2012.01)i, G06F17/30(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q50/22, G06F17/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2016年
日本国実用新案登録公報	1996-2016年
日本国登録実用新案公報	1994-2016年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X A	山田貴子、外1名、服の適正温度の着衣ライフログからの抽出法とファッションコーディネート支援法、電子情報通信学会技術研究報告、2014.02.28, Vol. 113, No. 479, pp. 107~112	1, 2, 5, 6 3, 4
X Y A	JP 2004-53520 A（株式会社ベルシステム二四）2004.02.19, 0004, 0005, 0008, 0048~0052段落（ファミリーなし）	1, 5, 6 2 3, 4

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

19.05.2016

国際調査報告の発送日

31.05.2016

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

早川 学

5M

9652

電話番号 03-3581-1101 内線 3599

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2006-301973 A (松下電工株式会社) 2006. 11. 02, 要約 (ファミリーなし)	2
X	JP 2002-311158 A (国土環境株式会社) 2002. 10. 23, 要約、 0005, 0020~0024, 0033段落 (ファミリーなし)	1, 4-6
Y		3
A		2
Y	JP 2002-15184 A (有限会社 デンタルサプライ) 2002. 01. 18, 要約、請求項7、0020, 0031, 0038, 0043, 00 44, 0051段落 (ファミリーなし)	3
X	JP 2005-63218 A (日本電信電話株式会社) 2005. 03. 10, 請求項3, 8, 0001段落 (ファミリーなし)	1, 4-6
Y		3
A		2